

海外事務所 主な活動報告（令和 8 年 1 月）

《ワシントン州事務所》

北東アメリカ兵庫県人会「CLUB GO」による毎年恒例の阪神・淡路大震災追悼式典がニューヨークにて開催された。31年目となった今回は、約50名が参加した。

式典では県人会会長、在ニューヨーク日本国総領事館の総領事等による挨拶、当事務所からの知事メッセージ代読、神戸市長メッセージ代読、追悼演奏、黙祷とプログラムが進行し、厳粛な雰囲気の中、参加者は遠くニューヨークの地から被災地へ思いを馳せ、犠牲となられた方に祈りを捧げた。

兵庫県人会は当事務所が活動を進める中で、重要なネットワークの一つであり、引き続き連携強化を図りつつ、兵庫県のPRに努めていきたい。また、設立以来約15年に渡り、遠くニューヨークの地にて追悼式典を毎年開催されている北東アメリカ兵庫県人会の皆様に改めて深く敬意を表したい。

＜北東アメリカ兵庫県人会主催阪神・淡路大震災31年追悼式典の開催＞

- 日 程 2026（R8）年1月16日（金）
- 場 所 ニューヨーク日系人会館
- 参加者 北東アメリカ兵庫県人会会員等 約50名



知事メッセージ代読の様子

《パリ事務所》

当事務所では、ひょうご海外ビジネスセンターの海外展開支援助成金に採択された県内企業等に対し、海外展開に向けた現地支援を行っている。1月には、パリの繁華街に欧州初の常設店舗を開店する県内企業に対し、メディア向けの記者発表及びレセプションの開催に係る現地調整や運営支援を行った。

また、少量生産・高付加価値商品の欧州市場開拓を検討する県内事業者に対し、展示会視察や現地事業者との面談機会に合わせ、流通実態や需要動向等に関する情報提供を行った。

このほか、県内の地場産業関係者と意見交換を行い、欧州側の関係者紹介がネットワークの形成に繋がったこと、現地拠点づくりや今後の展開に向けた連携の進捗を確認した。

＜県内企業等に対する海外展開に向けた現地支援等＞

- 日 程 2026（R8）年1月9日（金）、19日（月）、28日（水）
- 場 所 兵庫県パリ事務所
- 相手方 県内企業



メディア向け記者発表の様子

《香港経済交流事務所》

香港最大級のBtoC型旅行博である「香港ホリデー&トラベルエキスポ（HTE）2026」において、ブースを出展し、県や各市町の観光パンフレットを配布しながら来場者へのPRを行うとともに、当事務所のフェイスブックや、ひょうご観光本部、ひょうごフィールドパビリオンのインスタグラムのフォロワー数の増加に努めた。

日本関連団体を集めた日本エリア（ジャパンパビリオン）には、自治体、航空会社、鉄道会社、ホテルなど17社・団体が出展し、多くの来場者で賑わった。ブースも同エリア内に設置され、特にアニメ・ゲーム関連コンテンツへの関心が非常に高く、多くの来場者が訪れた。また、温泉や桜の名所、食文化（神戸ビーフ、日本酒など）への関心も高く、灘五郷の酒蔵巡りのために何度も神戸や西宮を訪れているという来場者もいた。

JNTOの発表によれば、2025年の訪日外国人旅行者数は4,268万人（前年比+15.8%）と過去最高を更新した一方、主要国・地域の中で香港のみが前年比6.2%減の251.7万人となった。それでも人口約750万人の香港からは約3人に1人が日本を訪れていることになり、人口当たりの訪日客数では依然として最も多い地域である。

今後とも、インバウンド誘客において重要な市場である香港において、本県の魅力を発信し、兵庫への誘客を図っていく。

<香港ホリデー&トラベルエキスポ（HTE）2026 への出展>

- 日 程 2026（R8）年1月29日（木）～2月1日（日）
- 場 所 香港会議展覽中心（香港・湾仔）
- 出 展 数 107社・団体（日本エリア17社・団体）
- 参 加 者 25万人以上
（うち、兵庫県ブース来場者 約4千人）



ブースの様子